



島教協

《 すべては「子どもたちのために」 》

情報

http://
www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax: 0853 (22) 7762 代表者 石原康博 編集人 吉田 修

No.623

島教協 第五十回 定期総会



挨拶をする石原会長

五月二十九日(土)、ビッグハート出雲において第五十回定期総会が開催された。

出雲市教育委員会教育部部長 中島薫様をはじめ、斐川町教育委員 会学校教育課長 大森志治夫様、島根県議会議員 佐々木雄三様、全日教連事務局次長 森下耕司様を来賓として迎えた定期大会は、盛大なものであった。

石原会長からは「地域格差が広がる今、地方から教育現場の実情を伝えていくことが重要である。」

島教協は子どもたちのため、会員のため、現状とニーズに即した要望活動を展開し、打たれなくても鳴る鐘でありたい。」と挨拶があった。

その後二十一年度総括、決算報告、二十二年度活動計画並びに予算案が慎重に審議され、承認された。

会の終わりに、佐野副会長が先日の谷先生の講演から「先人が積み上げた学問・文化を言葉で伝える教職の仕事には責任と誇りがある。さらに魅力のある仕事となり、安心して職務に専念できるように教育環境を整え、待遇改善をしていくことが必要だ。」と、熱く語った。

総会終了後には、全日教連、森下事務局長より中央情勢報告が行われた。文科省がとりまとめた「小学校及び中学校施設整備指針の改訂等について」、就学援助制度の実態から分かる地域格差の拡大について、人事権の委譲に伴う様々な問題点についてなど、分かりやすく説明された。また、全日教連の今年度の要望活動の詳細や、全日教連会員の大きなメリットの一つである「積立年金制度」についても紹介された。

第一回 教育講演会



五月二十三日(日)、島根県教育文化研究所は、資質向上プログラム第一回目として教育講演会を開催した。講師は、谷和樹氏(玉川大学教職大学院准教授)。「どの子にも力をつける授業の条件」の演題でお話いただいた。

講演は、模擬授業のような形で始まり、その笑顔にスタートから参加者は引き込まれた。具体的なエピソードを交えたお話を、視線・立ち位置・表情など授業における10のポイントや、教師の行動のすべてに意味づけをして行うこと、発達障害に関わることなど、教師としての基礎・基本に改めて気づかされるお話だった。

「怖くはないけれどやらざるを得ない状況にする」という学級づくりなど、さっそく実践に生かしていきたい内容も盛りだくさんで、参加者は大いに納得し、元気をいただいた。

祝！新規加入者

- 栗原 千晶さん (四絡幼)
- 内藤 加奈さん (今市幼)
- 横木 美保さん (高松幼)
- 倉橋 健司さん (塩冶小)
- 金坂 唯さん (塩冶小)

出教協 第5回定期総会



挨拶をする錦織執行委員長

頑張っている。と挨拶があった。その後、今年度の出教協スローガン「増やそう会員一人でも！組織の発展」のもと、活動を進めていくことが了承された。

五月二十三日（日）、出雲市教職員協議会は、第五回定期総会を開催した。出雲市教育委員会教育次長 妹尾克彦様、島教協 石原康博会長を来賓に迎え、平成二十二年度の活動計画が慎重に審議された。



集団面接の演習に取り組む参加者

次回は6月19日（土）の予定。たくさんの方の参加を期待している。

五月三十日（日）、島根県教育文化研究所は、第二回講師研修会を開催した。まず、今年度新規採用者から勉強の仕方について参考書やノートなどの実物を提示しながら丁寧な話をしていたいただき、その後面接練習を繰り返し行った。

【参加者感想】

- ・ノートを見せてもらい、今自分が作っている面接ノートに足りないところ、加えたいところが発見でき、勉強になった。
- ・緊張感のある中練習することができ、大いに刺激を受けた。
- ・自分の核となる考えをしっかりとまとめ、次回も参加したい。

幼稚園部総会

五月二十一日（金）出雲市内において、幼稚園部の総会が開催された。今年度の運動方針が説明され、承認された。

その後の会食をしながらの情報交換では、各園の様子や今年度の研修内容の案など、今後の要望や活動にもつながる、具体的な意見が活発に交換され、交流が深められた。



幼稚園部総会の様子

文化厚生部 食事会

出教協文化厚生部は、恒例の食事会を、五月二十三日の定期総会の後、教育講演会に引き続いて、出雲市内のホテルにおいて開催した。

おいしい和食を食べながら、会員同士互いの近況など様々な話題に花が咲いた。

また、食事会には講演会の講師、谷和樹先生も参加され、講演では聞けなかった話など、さらに突っ込んだお話をたっぷりと聞くことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。

すっかりエネルギーが充填できるこの食事会は冬にも計画されている。出教協会員はぜひ参加を！

